

自己評価・外部評価 評価表(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている		○			・会社全体、事業所の理念は あるが、掲示していない。	特になし
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している		○			・介護カンファ等でも伝えてい る為、理解は進んでいる	特になし
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している	○				・年間計画を立てて月1回以上 は内部研修実施している	特になし
		4	管理者は、サービス提供時の職員 の配置等を検討する際、職員の能 力が最大限に発揮され、能力開発 が促されるよう配慮している				○	1人で不安な職員には同行し たり、柔軟にサービスを行える ように助言行っている	特になし
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等 の特性・状況に係る相互の理解・認 識の共有のための機会が、十分に 確保されている	○				・申し送りや、カンファレンスを 通して行っている	特になし
(3) 適切な組織体制の構築									

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
①	組織マネジメントの 取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟な サービスを提供するため、最適且 つ柔軟な人材配置(業務・シフトの 工夫)を行っている		○			業務の工夫は出来ているが、 シフトにおいては何とも言えな い部分もある。パートさんが休 みの日は正社員を一人多くし ている	特になし
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適切 に開催すると共に、得られた要 望、助言等(サービスの過少供給に 対する指摘、改善策の提案等)を、 サービスの提供等に適切に反映さ せている		○			去年まではコロナの関係で集 まっていたのが、落ちてきたの で、状況を見て最低限の人数 でもいりから開催して行きたい	週末開催だと参加しづらいた め、開催日の検討をお願いしたい
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係 る情報の随時更新・ 共有のための環境整 備	8	利用者等の状況について、(個人 情報管理に配慮した上で)必要に 応じて関係者間で迅速に共有でき るよう工夫されている	○				何かあれば迅速に連携を図つ ている	状態変化など都度の連絡や報告 を行っている。 どこの医療機関とも連携を図れ るようにしてほしい。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確 保や災害時の緊急体制の構築等 のため、事業所においてその具 体的な対策が講じられている(交通 安全、夜間訪問時の防犯対策、災 害時対応等)		○			BCP委員会を設置してマニ ユアルの作成を行っている	火災や災害時等何かあった時の 為に、消防団長にも話しておいた 方がよいと思う。
②	利用者等の個人情報 の保護	10	事業所において、利用者等に係 る個人情報の適切な取り扱いと保 護についての具体的な工夫が講 じられているとともに、管理者や 職員において共有されている	○				鍵付きキャビネットで保管し ている	特になし
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間 の暮らし全体に着目 した、介護・看護両面 からのアセスメントの 実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着 目した、アセスメントが提案され ている		○			利用者一人一人に応じたケア が出来ている	利用者様の状態変化に応じたケ アの提案が出来ている
		12	介護・看護の両面からのアセ スメントが適切に実施され、両 者の共有、つき合わせ等が行われ ている		○				

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				スタッフの相談や利用者様、ご家族様の希望を主治医に提案し、計画されている。	状態に応じた相談が都度されている
③	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				予想されるリスクの回避、機能維持を目標としている	一体型なので看護師との連携が早く柔軟な対応が出来る
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				コール対応や必要に応じて随時対応行ったり、訪問回数増やしたり、時間変更を行っている	状態に応じたサービス等の相談が都度されている
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎月必ずモニタリングを実施している	特になし。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				それぞれの専門性を生かして柔軟なサービス提供が出来る	特になし
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				毎日の申し送りや記録等で適宜指導、助言が行われている	特になし
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			分かりやすく何度も説明を行っているが、認知症や理解力の低下等で十分でないケースもある	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				都度対面で十分な説明を行っている	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				サービスの変更や利用者様の状況報告など随時家族に報告している	特になし
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				適宜ケアマネジャーと話しあっている	必要時の相談が適宜されている
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				適宜ケアマネジャーと話しあっている	必要時の相談が適宜されている
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				多職種での意見交換や提案が出来る	必要時の相談が適宜されている
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				サービス担当者会議などを通して依頼や提案が出来る	特になし
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			サマリー等を確認した上で都度病院に状態の確認を行っている	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			多職種との役割分担、共有は出来ている	特になし
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている				○	誰でも見ることが出来るようになっていない為、今後は誰でも見れる場所に置くようにする	特になし
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			○		会議の際などに定期巡回の概要について積極的に広報しているとは言えない	特になし
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		十分に理解されているかは、職員によってばらつきがある	特になし
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている				○	広報周知が出来ていない	特になし
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)			○		ケアマネジャー、訪看、先生等とは課題提起、改善案等は共有出来ているが、広い関係者間では共有出来てない。	特になし
III 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			達成度は利用者ごとに異なる。	特になし

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			決まった時間の訪問、コール対応で一定の安心感はあるが、疾病等により限られる場合もある	特になし